

# 発達障害のある子どもの育ちを支えるために

発達障害と診断された子どもを持つ親、その子を取り巻く地域、そして私たちにはなにができるでしょうか。  
子どもの育ちや子育てをたくさんの方で支えることの大切さについてお伝えします。

## 「私らしい」「あなたらしい」が きっと見つかる講座

私らしく生きる生きかた講座は、自分や家族の暮らしを豊かなものにするために「もっと深く、様々なジャンルを学びたい」という組合員さんのニーズに応える、山口県立大学と提携した講座です。山口県立大学の教授や准教授・講師の方々のご協力のもと、今年度は全8講座が行われました。今回は、10月21日(木)にオンラインで行われた講座「発達障害のある子どもの育ちを支えるための「家族ができること、社会ができること」」の概要や、参加者さんの感想などをご紹介します。



講師プロフィール

山口県立大学社会福祉学部

藤田久美 教授

- 研究分野
- 障害児支援者の専門性に関する研究
  - 発達障害の早期支援に関する研究
  - 障害児・者の家族支援に関する研究

## 発達障害ってなんだろう？

発達障害は、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。その特性の違いから、「ASD（自閉症スペクトラム障害）」「ADHD（注意欠陥多動性障害）」「LD（学習障害）」の3つに分類されます。

## 親の育て方が悪いわけではない

発達障害は、発達の過程で発見されます。だいたいは3歳以前に発症すると言われていますが、発達障害と診断される時期は人によって違います。ひと昔前には、「親の育て方が悪い」などという言葉が親や周囲の人を傷つけましたが、発達の遅れの原因は、脳の中枢神経に何らかの障害があることによるものであることが報告されています。決して親御さんのせいではないということが広く伝わればいいなと思います。

## 私たちができること

発達障害のある子どもの育ちには、周囲の支援が欠かせません。自身の特性を否定されたり怒られたりすると障害が重くなる場合があります。周囲の環境は本人の障害の状態・家族の生活の質に大きな影響を与えます。発達障害は、努力では変えられないものの特性です。その子の特性を受容し、理解した上ででの対応が求められます。差別や偏見などの「社会的障壁」を取り除くことが大切です。



## 参加者さんの声

### 特性を理解して心の支えに

学童保育の指導員で日々子どもたちと接しています。発達障害と診断を受けている子どもたちが年々増えていると実感していますが、発達障害の子が増えているわけではなく、保護者の方が周囲に理解され適切な関わりを持ってもらえるようにと発信してくださっているのだと理解しています。多くの方が、その子の特性を理解し、個性として受け取ってもらえるよう理解を促すのも私たちの役割だと思っています。同時に保護者の方の心の支えとなるよう努めていこうと思いました。

宇部市・40代

### 子どもを見守る地域に

我が子は言葉がとても遅く一歳半健診で病院受診を勧められました。あれから十数年。小さい頃はいろいろと悩みました。どうにか大きく育ちました。子育てをしながら私も自身が育てられていたのだと思えるようになり、その頃から私の心も軽くなりました。もっとあたたかく子どもを見守る社会になると良いですね。『みんなちがってみんないい』誰もがそう思える社会になることを私も望んでいます。



周南市・40代

## 発達障害の分類

### ASD

自閉症スペクトラム障害

自閉症

アスペルガー  
障害

高機能  
自閉症

コミュニケーションの場面で、言葉や視線、表情、身振りなどを用いてやりとりをしたり、自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを読み取ったりすることが苦手。また、特定のことに対する強い関心をもっていたりする。感覚の過敏さを持ち合わせている場合もある。



### ADHD

注意欠陥多動性障害

LD  
学習障害

発達年齢に比べて、落ち着きがない、待てない、注意が持続しにくい、作業にミスが多いといった特性がある。

全般的な知的発達には問題がないのに、読み書き、計算するなど特定の学習のみに困難が認められる状態のこと。

## 発達障害に気づくきっかけ

- どこで？
- ✓ 健診(1歳半、3歳)
  - ✓ 保育機関
  - ✓ 地域(子育て支援の場等)
  - ✓ 家庭生活の中で

- どんなことで？
- ✓ ことば
  - ✓ コミュニケーション
  - ✓ 社会性
  - ✓ 行動面(多動、こだわり)
  - ✓ 感覚(過敏、鈍感)

## 山口県内の相談窓口

- 山口県発達障害者支援センター まっぷ  
〒753-0814  
山口県山口市吉敷下東4丁目17番1号  
電話:083-902-2680
- 各市町の保健センター
- 各市町の障害福祉課

